

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【公開番号】特開2015-148198(P2015-148198A)

【公開日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2015-052

【出願番号】特願2014-21872(P2014-21872)

【国際特許分類】

F 0 4 B 39/10 (2006.01)

F 0 4 C 29/12 (2006.01)

【F I】

F 0 4 B 39/10 F

F 0 4 C 29/12 F

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月5日(2016.8.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明に係る圧縮機は、密閉容器と、前記密閉容器内に設けられ、圧縮室と、吸入口と、前記圧縮室と前記吸入口との間を連通させる吸入流路と、が形成された圧縮機構と、前記密閉容器の壁面を貫通して前記吸入口と前記密閉容器外とを連通させる貫通流路と、前記吸入流路に設けられた逆止弁と、を備え、前記吸入流路のうちの、前記逆止弁の前記吸入口側に、シール管が、圧入され、前記逆止弁は、前記シール管の前記端面に当接することで、前記吸入流路を閉止するものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

密閉容器と、

前記密閉容器内に設けられ、圧縮室と、吸入口と、前記圧縮室と前記吸入口との間を連通させる吸入流路と、が形成された圧縮機構と、

前記密閉容器の壁面を貫通して前記吸入口と前記密閉容器外とを連通させる貫通流路と

、

前記吸入流路に設けられた逆止弁と、

を備え、

前記吸入流路のうちの、前記逆止弁の前記吸入口側に、シール管が、圧入され、

前記逆止弁は、前記シール管の前記端面に当接することで、前記吸入流路を閉止する、ことを特徴とする圧縮機。

【請求項 2】

前記吸入流路のうちの前記領域に、前記シール管が圧入されて、前記シール管の外周面が前記吸入流路のうちの前記領域の内周面に当接された、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の圧縮機。

【請求項 3】

前記吸入流路の内周面に、受面が形成され、
前記吸入流路のうちの前記領域に、前記シール管が圧入されて、前記シール管の前記端面が前記受面に当接された、
ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の圧縮機。

【請求項 4】

前記貫通流路の少なくとも一部は、一端が前記吸入口に接続された吸入管によって構成され、
前記吸入管の前記一端の内側に圧入管が圧入されて、前記吸入管の前記一端の外周面が前記吸入口の内周面に当接された、
ことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の圧縮機。

【請求項 5】

前記吸入管の前記一端は、縮径された、
ことを特徴とする請求項 4 に記載の圧縮機。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の圧縮機を備えた、
ことを特徴とする冷凍サイクル装置。